

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

### 【研究課題名】

子宮体癌に対する後腹膜鏡下傍大動脈リンパ節郭清を含む鏡視下根治術における術後合併症に関する後方視的検討

### 【目的】

子宮体がんに対する傍大動脈リンパ節郭清は、病期診断および治療方針決定において重要な役割を担う一方、術式に伴う侵襲性が高く、周術期合併症の発生が臨床上の課題となっています。近年、開腹手術に加え、鏡視下アプローチが普及し低侵襲化が進んでおり、後腹膜鏡下傍大動脈リンパ節郭清術は低侵襲性の観点からその安全性および有用性が検討されていますが、術式の違いが特定の合併症にどのように影響するかについては十分な検証がなされていません。この研究では、傍大動脈リンパ節郭清術を含む子宮体がん根治術における開腹アプローチと後腹膜鏡アプローチを比較検討し、合併症の重症度別発生率および腫瘍学的予後を明確にすることを目的とします。

### 【対象】

2017年1月から2025年12月までに、当院において傍大動脈リンパ節郭清を含む子宮体がん根治術を1期的に施行した方

### 【方法】

診療記録より担当者が情報を収集し、データ収集フォームに入力します。データ収集フォームは、ファイルにパスワードをかけて電子媒体に保管し、統計解析責任者へ送付され、解析担当者によって解析・集計されます。この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがあります。

### 【個人情報の取り扱い】

収集した情報は匿名化するため、氏名などの特定の個人を識別できるような情報が外部に漏れることはありません。

### 【利用する試料・情報】

診療情報：年齢、BMI、術後進行期、基礎疾患、手術時間、出血量、骨盤/傍大動脈リンパ節摘出回数、術後合併症、入院期間、再手術率、無増悪生存期間、全生存期間等  
利用開始日：2026年4月～

### 【研究期間】

臨床研究審査委員会の承認が得られてから2028年3月

### 【研究代表者】

横浜市立市民病院 産婦人科 石寺 由美

### 【統計解析責任者】

がん研有明病院 婦人科 新堀 雄大

### 【共同研究機関】

横浜市立大学附属病院

### 【当院の研究責任者】

横浜市立市民病院 産婦人科 石寺 由美

### 【試料・情報の管理責任者】

横浜市立市民病院 病院長 長谷川 直樹

**【連絡先】**

横浜市立市民病院 〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町 1-1  
電話 045-316-4580（病院代表） 産婦人科 石寺 由美

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。

また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。